

## 編集後記

吉備国際大学研究紀要第24号をお届けいたします。

昨年も述べましたが、これが電子ジャーナル化した記念すべき第一号になります。電子ジャーナル化により、編集の簡便化、編集費用・郵送費用の節約、公開の推進などが達成できました。また、編集作業の遅れなどから恒例化していた発刊の遅れとそのためのものであった年度を跨いだ予算処理の問題も解消いたしました。今年度は冊子体の時と同じスケジュールで原稿募集、編集作業を行いました。この行程を精査することで、来年度は原稿の募集期限の延長も可能になるのではないかと考えております。

ご承知のように、学術論文およびそれを掲載する学術誌の価値は、それらが他の研究者にどの程度引用されるかで決まって参ります。より多くの研究者に引用されるためには、論文自体の内容が大事なのはもちろんですが、多くの研究者の目にとまる、すなわち広範囲に公開することも重要であり、この電子ジャーナル化はその第一歩とも考えられます。

一方で、電子ジャーナル化の拡大により論文の盗用や著作権の侵害の問題も深刻になりつつあります。先生方には、ご指導下にある院生等を含め、このような問題に注意をお払いいただきながら、積極的なご投稿をお願いいたします。

紀要編集委員長 古田 知久

## 吉備国際大学研究紀要編集委員会

委員長 古田 知久 (心理学部)

委員 姜 明 求 (社会科学部)  
水 谷 雅 年 (保健医療福祉学部)  
元 田 弘 敏 (保健医療福祉学部)  
上 田 憲 嗣 (心理学部)  
平 見 勇 雄 (文化財学部)  
橋 本 久美子 (地域創成農学部)  
中 村 真理子 (短期大学部)